

研修生だより No.6 5 / 2 ~ 5 / 8

社会福祉法人建昌福社会 帖佐すずらん保育園 福富

日付	時間	活動内容 & 場所
5月2日 (土)	7:00~8:30 車移動 10:36 13:30	サンフランシスコ国際空港へ移動 カナダ・バンクーバーへ移動 カナダ・バンクーバーに到着
5月4日 (月)	10:45 14:00 16:00	Italian cultural Centre 見学・説明 Queen Elizabeth elementary school 見学・説明・質疑応答 Before and After school day care @Ecole Glenayre Elementary School 見学・説明
5月6日 (水)	9:00 12:00	Trafalgar Elementary school 見学・説明 The Arbutus Club 見学・説明
5月7日 (木)	13:30	West Vancouver community center 見学
5月8日 (金)	11:00 14:00 15:00	WD Ferris Elementary School 説明見学・質疑応答 Hilcrest community center 見学 現地在住日本人 インタビュー (Child care 迎え時)

バンクーバーの歴史は、19世紀後半、製材業と鉄道建設を契機に都市化が進み、1886年に市として誕生しました。カナダ太平洋鉄道の開通は人口流入を加速させ、中国、日本、インド、ヨーロッパからの移民が多様なコミュニティを形成しました。20世紀以降、世界各地からの移住が続き、現在では住民の半数以上が英語以外を母語とする世界有数の多文化都市となっています。先住民の文化と移民の多様性が重なり合うことで、バンクーバーは「多文化共生」を象徴する都市へと成長しました。

そんなバンクーバーでは、各 Cultural Centre（イタリア、日本等）、Elementary School 内の Kindergarten クラス・特別支援クラス・多言語クラス・学童保育、各地域の Community Center 見学、子育て中の現地在住日本人の方のインタビュー等を実施します。

Italian Cultural Centre では、そこが単なる文化施設ではなく、多世代が自然に交わる“暮らしのコミュニティ”として機能していることに深く心を動かされました。敷地内には高齢者向け住宅や24時間ケアの施設があり、入居者がレストランや図書館、イベントに気軽に参加できる環境が整っています。また、保育園も併設され、子どもたちの声が日常に溶け込む光景はとても温かく感じられました。文化・子育て・高齢者支援が一体となったこの場所は、多文化社会における“地域で支え合う仕組み”の理想形のように見え、私自身の施設運営の視点にも新たな学びを得ることができました。

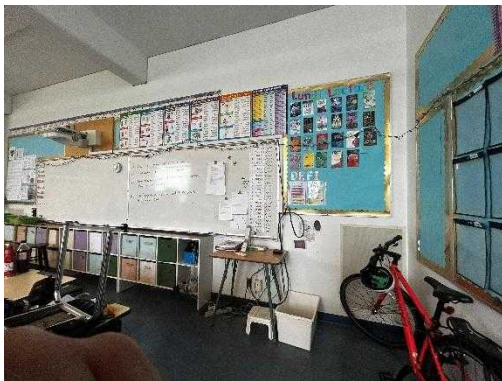
Queen Elizabeth Elementary School のキンダーガーデンでは、多文化・多言語の子どもたちが当たり前のように混ざり合い、互いの違いを尊重しながら過ごしている姿が特に印象に残っています。英語が第二言語の子どもも多い中で、職員は一人ひとりのペースに寄り添い、ELL 支援や読みの早期介入プログラムなど、必要なサポートを柔軟に組み合わせていました。その姿勢は、まさに「インクルーシブ教育」の実践そのものだと思います。また、遊びを通して学ぶという考えが根付いており、それぞれ6クラスあるクラスの先生方が、横で繋がりながらもそれぞれの特色を出しながら保育環境を作り、子どもたちが自由に選び、試し、対話しながら学べる環境として保育室内が整えられ、そこには「遊びが学びに繋がる」というメッセージが流れているように感じました。さらに、次の学年に引き継ぐために、職員通しのつながりも強く、簡易ではありましたが、独自の伝達ツール（日本でいう要録）を用いて、引継ぎが行えるように工夫がなされていました。



うまくゾーニングされた環境

Ecole Glenayre Elementary School 内にある Before and After School Day Care は、B.C. 州の公立学校で一般的な方式で、校舎の一部を借りて運営されている学童保育です。学校という日常の場がそのまま子どもたちの安心につながっていることを強く感じました。日本とは異なり、登校前の時間帯も預かりの対象となっており、これは子どもの登下校を保護者が行う必要があること、そして学校が開いていない時間に出勤しなければならない保護者を支えるための仕組みです。学童では、子どもたちは思い思いに過ごしながら、友だちとの関わりや遊びを通して自然に

心を整えていきます。また、地域の保育者養成大学等から多くの学生アルバイトが参加し、職員とともに子どもたちを支援している姿が印象的でした。こうした実践は非常に意義深いと感じます。家庭と学校のあいだをしっかりとつなぎ、子どもたちの生活リズムを支えるこの学童保育の存在は、地域における大切な居場所として機能していると実感しました。



壁面環境はフランス語

Trafalgar Elementary school の最高学年のフランス語クラスを見学し、まず驚いたのは、教室全体が完全にフランス語で満たされていたことでした。生徒が時折英語で答える場面もありましたが、教師は常に落ち着いたフランス語で返し、自然に言語をフランス語へと導いていました。この一貫した姿勢が、子どもたちの言語環境をしっかりと支えているように感じました。また、活動はプロジェクト型で、子どもたちが主体的に学びを進める雰囲気が印象的でした。見学の終わりに、教師から「教科書は決まっていない」と聞き、B.C州の柔軟なカリキュラムのあり方がよく理解できました。子どもの興味や実態に合わせて教材を選び、学びをデザインする教師の専門性が、この豊かな学習環境を支えていると強く感じました。

に、教師から「教科書は決まっていない」と聞き、B.C州の柔軟なカリキュラムのあり方がよく理解できました。子どもの興味や実態に合わせて教材を選び、学びをデザインする教師の専門性が、この豊かな学習環境を支えていると強く感じました。

The Arbutus Club を訪れて感じたのは、ここが単なるスポーツ施設ではなく、地域コミュニティの社交・健康・家族支援を一体化した“民間型ハブ”として機能しているという点でした。広々としたスポーツ施設やウェルネスサービスに加え、家族向けイベントや多世代が自然に集うダイニング空間が整えられ、会員同士が日常的に交流できる仕組みが随所に見られます。特に、子ども向けプログラムや託児スペースが充実していることで、親が安心して活動でき、家族全体の生活の質を高める工夫が感じられました。地域のつながりを民間の力で丁寧な育てる姿勢は、コミュニティづくりの新しい形として大きな示唆を与えてくれました。

WD Ferris Elementary School の特別支援クラスを見学し、まず心に残ったのは、多様な子どもたちが同じ空間で学ぶことを当たり前として受け止めている学校文化でした。発達段階も学習レベルも、行動の特性も異なる子どもたちが一緒に過ごす姿は、日本の特別支援学級とはまた違った空気を持ち、まさにカナダのインクルーシブ教育の理念がそのまま形になっているように感じました。一方で、レベルの差が大きいからこそ、活動の進め方や支援の優先順位に難しさが生じる場面も想像でき、理念と現実のギャップも確かに存在するのだと実感しました。しかし、どの子も「ここにいていい」と感じられることを最優先にしている姿勢は揺らぐことがなく、人としての尊厳を守ることが教育の出発点であるという強い価値観が教室全体に流れているように受け取ることができました。学びの前に“存在の肯定”があるという考え方を、改めて深く理解する機会となりました。理念の美しさと現場の挑戦、その両方を知ったことで、インクルーシブ教育の本質に少し触れられたように感じています。



様々な情報を整理し掲示している

バンクーバーの複数の Community Center を見学しました。子どもから高齢者まで、多文化の人々が思い思いに過ごす姿は、日本ではなかなか見られない光景であり、その包容力に深く心を動かされました。しかし調べを進めると、この温かな空間の裏側には、多様性を支えるための絶え間ない努力と課題が存在することも実際あるとのこと。住民組織と行政が共同で運営する独自のモデルは、地域に根ざした魅力を生む一方で、センターごとの格差や意思決定の難しさも抱えています。また、多文化・多世代が同じ空間に集うからこそ、言語や文化の違い、活動レベルの差を調整する現場の苦労も大きいのが実際のようなようです。それでもなお、人々が安心して集い、つながりを育む場を守り続けようとする姿勢に、この都市の強さとすごさを感じることもできました。バンクーバーの Community Center は、地域を支える大切な基盤として根付いていると感じることができました。

その他、環境等の写真をいくつか



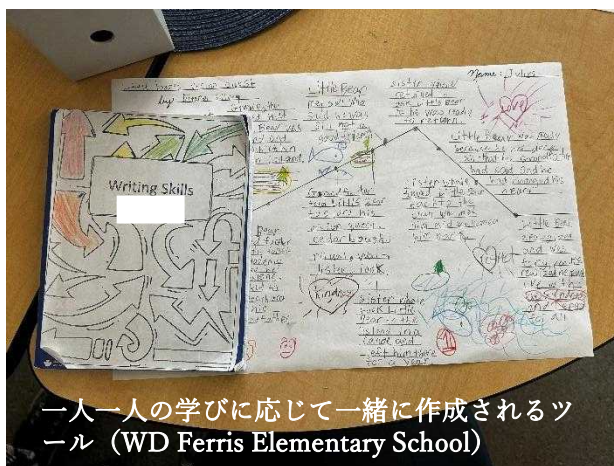
興味関心に基づき、整理して掲示されている環境 (Queen Elizabeth Elementary School)



職員が子どもたちの必要な学びに沿った環境を作成 (Queen Elizabeth Elementary School)



英語とフランス語の本が並べられている (Trafalgar Elementary school)



一人一人の学びに応じて一緒に作成されるツール (WD Ferris Elementary School)

バンクーバー文化の勉強！！

その土地の文化や歴史を知ることが、研修の学びにもしっかりとつながっています！！

